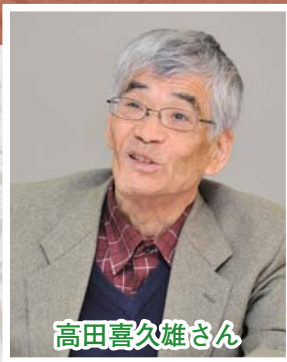




富岡賢治市長



福島長治さん



高田喜久雄さん



森山隆さん

地域を学ぶことで郷土愛を育む「高崎学検定」を提唱。古いものを大事にするまちづくりを推進。

井野町在住。知人に勧められて受験。理系だが各地の史跡を実際に巡って地域の歴史を学ぶ行動派。

倉賀野町在住。月に20冊ほど読書する。インターネットも積極的に活用。戦国時代と幕末が好き。

江木町在住。一昨年11月に退職したことを機に検定受験を決意。初挑戦で見事高崎学博士に輝く。

郷土高崎について、歴史や文化、自然、生活、産業など幅広い知識を問う高崎学検定。今回号では第3回検定の高崎学博士を迎え、高崎の魅力をさまざまな方面から語っていただき、これからのまちづくりについて考えます。



森山 昔から図書館で郷土資料を読んだり：社会科が好きだったんです。
市長 特に好きな分野は？
森山 やはり歴史で戦国時代。特に箕輪城の関係などです。
市長 現在箕輪城の城跡の門を修復しています。来年度いっばいで出来上がりますが、皆みないなものがあつたはずなので、それも復元できたらと考えています。ところが検定の問題はかなり幅が広いでしょう。
森山 そうですね。文化、産業、自然と出題範囲は広いです。退職を機に、まだ頭の回転が良いうちに（笑）検定にチャレンジしたいと思って受けました。去年、善光寺のご御開帳に妻とお参りしたんですが、その帰りに何気なく目にした大きな灯ろうに「寄進 上州高崎中島伊平」と書いてあつたんです。調べてみると、福田屋を営む、江戸の中期から明治の半ばくらいまで栄えた高崎の豪商でした。
高田 中島伊平さんは商工会議所の初代会頭を務めた人ですね。
森山 今回の検定にも出題されましたが、明治26年に明治天皇がその福田屋に宿泊されたそうなんですよね。
市長 やはり博士になるとすご

い！地元のことも意外と知らないものです。今年度、そんな知られていないけれども各町内会で誇れる場所、約200か所、市が案内板を立てるんです。まち歩きで地域の魅力を見つけてもらえたらいいと。福島さんも、勉強する中で新たに気づくようなこともあるんでしょうね。
福島 そうですね、例えばかつて高崎神社に群馬県神社庁があつたことか。歴史の勉強を始めたことで、何もかもが珍しいという感じです。
市長 やっぱり学べば学ぶほど新鮮なことがあるでしょ？
高田 はい。例えば中山道の新町宿。調べたら石川の前田藩が開拓して作ったのだそうです。他にも、和宮が家茂に嫁ぐときに——1861年くらいですが——倉賀野町を4日間かけてその行列が通つたといわれています。こうしたことが分かる就非常面白いですね。
古い建物を大事にまちづくりに生かす
市長 高田さんは元々倉賀野に住ですか？
高田 はい。
市長 倉賀野といえば、市に寄贈をしていた古い商家があります。倉賀野は、土日には

まち歩きを楽しむ人が多く訪れるのですが、休むところが無いものですか、手を入れてこの古商家を和風喫茶にしました。地元のお母さんたちにボランティアで運営していただいています。人気があるんですよ。ほかにもまちなかにあつた映画館「電気館」の施設を譲り受けて、映画のまち高崎の拠点として公民館のように活用したり、「あすなろ」という往年の喫茶店を高崎経済大学の学外教育施設として、学生たちが運営する喫茶店として再興したりしています。昭和の風情漂うようなものなども含め、古いものを大事にしたいと考えています。
地域を学ぶことの意味
市長 全国の市町村で地域にあるものを大事にしようとする動きがあり、自分のまちの文化発信をしようとしています。でも地域の歴史を学ばなければ本当の意味で発信するものは出てこないと思います。だから高崎学検定のような生涯学習活動を進めたいと考えています。高崎の文化活動やまちづくりについて何かお考えはありますか。森山さんいかがですか？
森山 高崎は江戸時代の城下町

文化財や神社、寺などを見て回つたのですが。
福島 はい。できるだけ出向きました。榛名神社は何回も行きましたね。
市長 私も榛名神社には三度ほど行きました。高田さんはどのような勉強を？
高田 私は主にパソコンで勉強しました。車いすなのであまり外へ出られないものだから。市のホームページを見ました。
市長 そうですか。インターネットは貴重なツールなんです。歴史でも特に戦国時代とか幕末あたりに興味？
高田 桜田門外の変とか、ペリーが来航したとか、豊臣秀吉とか、織田信長とか、その辺の本はかなり読みました。
市長 箕輪城の長野氏なども？
高田 はい。長野業正が亡くなったのは確か1561年ですか？高崎学は、年代まで覚えなるとダメな場合があるんです。
市長 そうなんです。高崎で特に好きな場所はどこですか？
高田 世界記憶遺産候補になつた上野三碑ですね。皆にその価値が広まり、もっと盛り上げられたいと思います。
市長 森山さんは初挑戦で博士になつたんですね。すごいです！

市長対談 「高崎学博士」と語るふるさと高崎の魅力

郷土愛を育む高崎学 学ぶ楽しさを実感
市長 高崎学検定は、郷土について深く知ってもらうことで郷土愛を育んでほしいと私が提唱させていただいたものです。どこにでもあるような簡単なものではなく、難しい試験にしたんです。日本一難しいと新聞に取り上げられました。優秀な成績の方には高崎学博士として、市民活動センター・ソシアスにネームプレートを掲示して公民館などで講師となつていただきます。高田さんは2回目の挑戦で高崎学博士となられました。高崎学博士となられたら、珍しく理系の方ですね。
高田 はい。昔から歴史は得意じゃなかったのですが。高崎学検定講座を受けたらどうかと友人に誘われて挑戦しました。
市長 講座以外に本などは読みましたか？
福島 図説・高崎の歴史という本を中心に読みました。
市長 そうですか。高崎学博士となつて、ご家族の反応はいかがですか？
福島 家族が一番喜んだのかびっくりしたのか（笑）祝つてくれましたよ。
市長 それはうれしいですね。